



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	25,208	△37.9	△3,856	—	△3,862	—	△2,914	—
2019年3月期第3四半期	40,620	△21.7	5,601	△50.2	5,844	△52.9	4,162	△53.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △3,216百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 4,064百万円(△60.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△82.39	—
2019年3月期第3四半期	114.11	114.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	136,593	114,062	83.5
2019年3月期	145,146	121,166	83.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 114,021百万円 2019年3月期 121,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	25.00	55.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△22.1	△3,600	—	△3,500	—	△2,400	—	△67.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	36,600,000株	2019年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,947,733株	2019年3月期	1,088,459株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	35,370,652株	2019年3月期3Q	36,480,070株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では雇用環境や消費マインドは依然として良好なもの、製造業景況指数が悪化するなど不安定な推移となり、欧州においても輸出が低調で設備投資も抑制傾向が継続しています。中国においても政府による景気下支え策により大幅な落ち込みは回避しているものの減速傾向は否めず、わが国においても海外経済の減速の影響を受けて製造業の生産活動に足跡が見られます。

当社グループが製品を供給するアパレル産業においては経済環境の先行き懸念とともに、環境への負荷軽減という課題がクローズアップされ、商品の過剰生産や在庫数量を抑制する動きが顕著になっております。

このような状況の中で、当社は当社製品を用いたサステイナブルなモノづくりを可能とするビジネスモデルへの転換に向けた提案を積極的に展開してきました。しかし、主力の横編機事業においては、当第3四半期連結会計期間（10月～12月）においても上半期に引き続き、中国、バングラデシュ、ベトナムなどのアジア地域のOEM型生産工場を中心に慎重な設備投資マインドは好転せず、コンピュータ横編機の売上高は伸び悩みました。また近年中国市場を中心に順調に拡大していたホールゲーム横編機についても中国における景気減速の影響もあり、販売台数が減少しました。

中東のトルコにおいては、昨年来の通貨危機から設備投資が停滞していましたが、欧州アパレル向けに短納期生産対応のメリットを活かし、当第3四半期連結会計期間においては設備投資に回復の兆しが見えるようになりました。

欧州や日本市場においては、消費地型生産の提案を積極的に進めましたが、慎重な投資姿勢の好転にはつながりませんでした。これらの結果、横編機事業全体での売上高は171億71百万円（前年同期比44.5%減）と大幅な減少となりました。

デザインシステム関連事業においては、アパレルデザインシステム「SDS-ONE APEX」シリーズにさらに高機能化・高速化を実現した新機種「SDS-ONE APEX 4」を投入しましたが、横編機事業の不振に連動して販売は伸び悩み、自動裁断機「P-CAM」も販売台数が減少しました。この結果、デザインシステム関連事業全体の売上高は28億20百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

手袋靴下編機事業においても大手ユーザーの設備更新が進まず、売上高は7億57百万円（前年同期比38.2%減）となりました。

その他事業につきましては部品販売やニット製品販売の減少などで売上高は44億59百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間全体の売上高は252億8百万円（前年同期比37.9%減）となりました。利益面におきましては、売上高が大きく減少したことに加えて、販売単価の下落や工場操業度の低下による売上総利益率の悪化が継続しており、営業損失38億56百万円（前年同期は営業利益56億1百万円）の計上となりました。また営業外において為替差損6億33百万円の計上などがあり、経常損失は38億62百万円（前年同期は経常利益58億44百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は29億14百万円（前年同期は純利益41億62百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は受取手形及び売掛金の減少などで前連結会計年度末に比べ85億53百万円減少し、1,365億93百万円となりました。負債合計は買掛債務の減少などで前連結会計年度末に比べ14億48百万円減少し、225億31百万円となりました。また自己資本の額は1,140億21百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末と同じく83.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期連結会計期間(1月～3月)は、ユーザーが最も設備投資を拡大する時期となり、売上拡大を目指して営業活動を行っております。

一方、経済環境の先行き不透明感が強まっている中、当社の主力市場である中国における新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大も懸念される場所ですが、現状その影響等を見通すことが困難なことから、現時点で2019年10月21日に発表しました2020年3月期通期の連結業績予想、個別業績予想を変更いたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,920	23,019
受取手形及び売掛金	56,784	52,491
たな卸資産	19,288	18,192
その他	1,854	1,423
貸倒引当金	△1,993	△2,796
流動資産合計	102,854	92,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,121	6,940
土地	11,665	12,069
その他（純額）	6,792	7,623
有形固定資産合計	25,579	26,632
無形固定資産		
のれん	2,987	2,672
その他	364	361
無形固定資産合計	3,352	3,033
投資その他の資産		
投資有価証券	7,834	7,955
退職給付に係る資産	1,156	1,248
その他	6,917	8,009
貸倒引当金	△2,547	△2,616
投資その他の資産合計	13,361	14,596
固定資産合計	42,292	44,263
資産合計	145,146	136,593

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,484	1,579
電子記録債務	520	414
短期借入金	8,879	8,764
未払法人税等	168	214
賞与引当金	1,176	677
債務保証損失引当金	342	336
その他	5,391	5,698
流動負債合計	18,962	17,686
固定負債		
長期末払金	993	974
リース債務	2,861	2,786
退職給付に係る負債	725	725
その他	436	358
固定負債合計	5,017	4,845
負債合計	23,979	22,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	25,867	25,867
利益剰余金	91,440	86,928
自己株式	△3,743	△6,040
株主資本合計	128,424	121,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63	146
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△770	△1,094
退職給付に係る調整累計額	418	356
その他の包括利益累計額合計	△7,292	△7,594
新株予約権	19	25
非支配株主持分	14	15
純資産合計	121,166	114,062
負債純資産合計	145,146	136,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	40,620	25,208
売上原価	21,519	16,111
売上総利益	19,100	9,096
販売費及び一般管理費	13,499	12,952
営業利益又は営業損失(△)	5,601	△3,856
営業外収益		
受取利息	127	290
受取配当金	180	148
その他	522	419
営業外収益合計	830	858
営業外費用		
支払利息	356	146
為替差損	139	633
売上割引	19	12
その他	71	71
営業外費用合計	587	864
経常利益又は経常損失(△)	5,844	△3,862
特別利益		
固定資産売却益	16	-
特別利益合計	16	-
特別損失		
固定資産除売却損	17	-
代理店解約損	25	-
特別損失合計	43	-
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	5,817	△3,862
法人税、住民税及び事業税	1,049	232
法人税等調整額	604	△1,180
法人税等合計	1,654	△948
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,163	△2,913
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,162	△2,914

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,163	△2,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△834	82
為替換算調整勘定	779	△323
退職給付に係る調整額	△43	△62
その他の包括利益合計	△98	△302
四半期包括利益	4,064	△3,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,063	△3,216
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年10月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式858,900株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,296百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が6,040百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が連結決算日と異なるSHIMA SEIKI U.S.A. INC.、SHIMA SEIKI EUROPE LTD. および SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U. の3社については、四半期連結決算日との差異が3ヶ月以内であるため、当該連結子会社の当該四半期会計期間に係る四半期財務諸表を利用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については調整を行った上で連結しておりましたが、四半期連結財務情報開示をより適正化するため、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は2019年1月1日から2019年12月31日までの12ヵ月間を連結しております。

なお、当該子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの売上高は4億32百万円、営業損失は41百万円、経常損失は43百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は36百万円であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,923	3,261	1,225	35,410	5,210	40,620
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	30,923	3,261	1,225	35,410	5,210	40,620
セグメント利益	8,469	734	205	9,408	954	10,363

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	9,408
「その他」の区分の利益	954
全社費用(注)	△4,762
四半期連結損益計算書の営業利益	5,601

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しており、当第3四半期連結累計期間は2018年1月1日から2018年12月31日までの12ヵ月間を連結しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,171	2,820	757	20,748	4,459	25,208
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	17,171	2,820	757	20,748	4,459	25,208
セグメント利益又は 損失(△)	377	125	△62	440	410	851

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	440
「その他」の区分の利益	410
全社費用(注)	△4,707
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△3,856

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)に記載のとおり、一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しており、当第3四半期連結累計期間は2019年1月1日から2019年12月31日までの12ヵ月間を連結しております。

【関連情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
6,622	7,414	2,970	22,366	1,246	40,620

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
5,305	5,084	1,400	12,504	914	25,208

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期 増減率	受注残高	前年同四半期 増減率
横編機	15,924	△43.3%	1,871	△69.5%
デザインシステム関連	3,016	△11.0%	438	△13.6%
手袋靴下編機	833	△30.3%	249	13.3%
合計	19,775	△39.4%	2,558	△62.7%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期増減率
横編機	17,171	△44.5%
デザインシステム関連	2,820	△13.5%
手袋靴下編機	757	△38.2%
その他	4,459	△14.4%
合計	25,208	△37.9%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。